

# 府養研ニュース

平成18年5月15日 発行  
大阪府養護教育研究会  
会長 河田 安男  
(藤井寺市立第三中学校)

6月号  
は5日発  
行予定  
です。

ホームページもご覧ください。 <http://fuyouken.visithp.jp>

**来年8月8日は府養研55周年記念大会** <http://fuyouken.visithp.jp/55/>

問い合わせ・ご意見は、Mailで本部役員まで [jimukyoku@fuyouken.visithp.jp](mailto:jimukyoku@fuyouken.visithp.jp)  
件名に「府養研問合せ」など「府養研」を入れてください。

## 役員の方、日程ご確認下さい。

平成18年度 府養研役員総会 府養研の支部役員、本部役員が集まり、年間活動について、計画を立てます。次年度  
第1回平成18年 6月 **15日(木)** 午後3時～5時 アウターナ大阪3階 生駒の間

学校教育法一部改正案が、参議院で可決されています(4月26日)付帯決議が以下で公開されています。衆議院は審議  
中です。次のページからリンクされています [http://www.sangiin.go.jp/japanese/frameset/mf\\_c04\\_04.htm](http://www.sangiin.go.jp/japanese/frameset/mf_c04_04.htm)

平成18年度府養研総会無事終了しました。平成18年5月11日(木)午後3時～5時  
谷口明広教授講演会の報告もあわせて添付の総会報告をご覧ください。  
一部地域に総会案内が不着であったことお詫びいたします。

## 府養研本部の予定

来年、8月8日(水)  
**府養研55周年記念大会** <http://fuyouken.visithp.jp/55/>  
が予定されています。場所は大阪国際会議場です。

## 研究部

- ☆ LD教育プロジェクト講演会平成18年8月29日(火)
- ☆ ICT活用プロジェクト連続講座 平成18年8月17日(木)から18日(金)
- ☆ 自閉症教育プロジェクト 講演会平成18年6月 事例研究会 平成18年8月  
本人トーク及びシンポジウム 平成18年11月 シンポジウム平成19年2月

## 研修部

- ☆ テーマ別研修会平成18年8月8日(火)
- ☆ 実技講習会 平成18年8月24日(木)
- ☆ 教育講演会

## 広報部

- ☆ 府養研ニュース発行
- ☆ 研究紀要CD制作

## 行事部

- ☆ 施設見学会 たまがわ高等支援学校平成18年8月25日(金)午後2時～5時
- ☆ 府教委との懇談会 平成19年1月

## 他団体から

### ムーブメント教育研究会 案内と前回の報告を添付

平成18年6月10日(土) 13:00～16:00 会場 大阪教育大学附属養護学校

平成18年8月26日(土)27日(日): 夏期セミナー IN 大阪 ぜひご参加ください。

## 平成18年度大阪府養護教育研究会総会・講演会

5月11日（木）、アウィーナ大阪において、平成18年度府養研総会が行われました。大阪府教育委員会からは沢村課長の祝辞がいただきました。議長は東大阪市立太平寺小学校の林校長が選出されました。17年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告の後、旧役員退任、新役員就任の挨拶があり、18年度事業計画、予算案と議事は滞りなく承認されました。新会長は藤井寺市立第三中学校の河田安男校長です。

議事終了後は**愛知淑徳大学の谷口明広教授の講演**が行われました。教授は

四肢及び体幹機能障害により、車椅子を使用されておられます。堺養護学校出身で、その後桃山学院大学を経て、同志社大学大学院で社会福祉学を専攻され、アメリカへ留学し、そして、現在大学教授として、また多数の団体の主力として、障害者の自立に関する素晴らしい研究活動を進められておられます。教授の講演は、まるで漫談家のようなユーモアある話しぶりで、視点が新鮮で内容もわかりやすく、会場の全員が話にぐいぐい魅せられていきました。障害から無理をして逃れようとするのではなく、それが自分にとってごく普通であることとし、より生きやすく、過去よりも今がより楽しく感じられる谷口教授の生き方には共感できました。また、谷口教授が子ども時代から学校の教師、親、福祉などに対し、どのようなことを感じ、どのようなことを望みながらそういった生き方を得られてきたか、大変よくわかりました。現在、われわれが目の前にしている子どもたちと重なるところがあり、興味深い話です。

教授が今言いたいことを大勢の前で言え、十分な反響を肌で感じ、私生活では普通に結婚もして子どもも居る、そして障害のない人よりむしろ生き生きと生活しておられるということは、世の中の障害がある人たちのモデルとしてとても意味があります。また、われわれ教師がつい学習成果、訓練成果を重視しがちで、子どもに過重な期待をかけて疲弊させてしまいがちなこと、または学校では子どもが幸せを感じていても、卒業後にさらに日々生きがいを持てるような自立できる教育ができているのだろうかという指摘は、非常に重要なことであると思いました。当の子どもたちの立場や気持ちを考えて一緒に選択しながら、自立の道をつけていかなければいけないですね。（文責 本部書記 藤岡）

障害を受容するということは自分を好きになると言うことです。自分を好きじゃない子多いです。

個性と障害の違いはですね、個性は嫌われてもいいですが、障害は嫌われては困るという点です。



# 府養研ニュース

平成18年5月15日 発行  
大阪府養護教育研究会  
会長 河野 安男  
(藤井寺市立第三中学校)

6月号  
は5日発行予定  
です。

ホームページもご覧ください。 <http://fuyouken.visithp.jp>

**来年8月8日は府養研55周年記念大会** <http://fuyouken.visithp.jp/55/>

問い合わせ・ご意見は、Mailで本部役員まで [jimukyoku@fuyouken.visithp.jp](mailto:jimukyoku@fuyouken.visithp.jp)  
件名に「府養研問合せ」など「府養研」を入れてください。

## 役員の方、日程ご確認下さい。

平成18年度 府養研役員総会 府養研の支部役員、本部役員が集まり、年間活動について、計画を立てます。次年度  
第1回平成18年 6月 **15日(木)** 午後3時～5時 アウリーナ大阪3階 生駒の間

学校教育法一部改正案が、参議院で可決されています(4月26日)付帯決議が以下で公開されています。衆議院は審議中です。次のページからリンクされています [http://www.sangiin.go.jp/japanese/frameset/mf\\_c04\\_04.htm](http://www.sangiin.go.jp/japanese/frameset/mf_c04_04.htm)

平成18年度府養研総会無事終了しました。平成18年5月11日(木)午後3時～5時  
谷口明広教授講演会の報告もあわせて**添付の総会報告**をご覧ください。  
一部地域に総会案内が不着であったことお詫びいたします。

## 府養研本部の予定

来年、8月8日(水)  
**府養研55周年記念大会** <http://fuyouken.visithp.jp/55/>  
が予定されています。場所は大阪国際会議場です。

## 研究部

- ☆ LD教育プロジェクト講演会平成18年8月29日(火)
- ☆ ICT活用プロジェクト連続講座 平成18年8月17日(木)から18日(金)
- ☆ 自閉症教育プロジェクト 講演会平成18年6月 事例研究会 平成18年8月  
本人トーク及びシンポジウム 平成18年11月 シンポジウム平成19年2月

## 研修部

- ☆ テーマ別研修会平成18年8月8日(火)
- ☆ 実技講習会 平成18年8月24日(木)
- ☆ 教育講演会

## 広報部

- ☆ 府養研ニュース発行
- ☆ 研究紀要CD制作

## 行事部

- ☆ 施設見学会 たまがわ高等支援学校平成18年8月25日(金)午後2時～5時
- ☆ 府教委との懇談会 平成19年1月

## 他団体から

### ムーブメント教育研究会 案内と前回の報告を添付

平成18年6月10日(土) 13:00～16:00 会場 大阪教育大学附属養護学校

平成18年8月26日(土)27日(日): 夏期セミナー IN 大阪 ぜひご参加ください。

## 平成18年度大阪府養護教育研究会総会・講演会

5月11日（木）、アウィーナ大阪において、平成18年度府養研総会が行われました。大阪府教育委員会からは沢村課長の祝辞がいただきました。議長は東大阪市立太平寺小学校の林校長が選出されました。17年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告の後、旧役員退任、新役員就任の挨拶があり、18年度事業計画、予算案と議事は滞りなく承認されました。新会長は藤井寺市立第三中学校の河野安男校長です。

議事終了後は**愛知淑徳大学の谷口明広教授の講演**が行われました。教授は

四肢及び体幹機能障害により、車椅子を使用されておられます。堺養護学校出身で、その後桃山学院大学を経て、同志社大学大学院で社会福祉学を専攻され、アメリカへ留学し、そして、現在大学教授として、また多数の団体の主力として、障害者の自立に関する素晴らしい研究活動を進められておられます。教授の講演は、まるで漫談家のようなユーモアある話しぶりで、視点が新鮮で内容もわかりやすく、会場の全員が話にぐいぐい魅せられていきました。障害から無理をして逃れようとするのではなく、それが自分にとってごく普通であることとし、より生きやすく、過去よりも今がより楽しく感じられる谷口教授の生き方には共感できました。また、谷口教授が子ども時代から学校の教師、親、福祉などに対し、どのようなことを感じ、どのようなことを望みながらそういった生き方を得られてきたか、大変よくわかりました。現在、われわれが目の前にしている子どもたちと重なるところがあり、興味深い話です。

教授が今言いたいことを大勢の前で言え、十分な反響を肌で感じ、私生活では普通に結婚もして子どもも居る、そして障害のない人よりむしろ生き生きと生活しておられるということは、世の中の障害がある人たちのモデルとしてとても意味があります。また、われわれ教師がつい学習成果、訓練成果を重視しがちで、子どもに過重な期待をかけて疲弊させてしまいがちなこと、または学校では子どもが幸せを感じていても、卒業後にさらに日々生きがいを持てるような自立できる教育ができているのだろうかという指摘は、非常に重要なことであると思いました。当の子どもたちの立場や気持ちを考えて一緒に選択しながら、自立の道をつけていかなければいけないですね。（文責 本部書記 藤岡）

障害を受容するということは自分を好きになると言うことです。自分を好きじゃない子多いです。

個性と障害の違いはですね、個性は嫌われてもいいですが、障害は嫌われては困るという点です。



## ムーブメント教育 研究会のご案内

ムーブメント教育は、1977年に横浜国立大学教授・小林芳文博士によって、初めてわが国に紹介されました。『人間尊重』の教育を基本理念として、子どもの自主性・自発性を重視し、究極的には子どもの『健康と幸福感の達成』をめざしています。この素晴らしいムーブメント教育について、ともに勉強し、日々の教育実践に反映させ、楽しいムーブメント教育を広げていきたいと考えています。

すでに東京、神奈川、福井、石川、富山、長野、千葉、茨城、北海道、青森、徳島、愛媛ほか、各地でムーブメントの研究会や子どもや成人老人等を対象としたムーブメント教室が開かれています。楽しいことが好きな大阪にも、ムーブメントの風を起こしていきませんか？

今回、この研修会に参加されてムーブメント教育に興味をもたれた方、もっと勉強してみたいと思われる方、ぜひ参加してください。また、まだムーブメント教育を知らない方々も仲間でおられたらぜひお誘いください。

### 研究会の予定

日 程 平成 18 年 6 月 10 日 (土) 13:00~16:00

会 場 大阪教育大学附属養護学校

大阪市平野区喜連4-8-71

大阪市営地下鉄谷町線 喜連瓜破駅下車 3番出口より東へ約 150m

参加費 500 円

☆ 偶数月 第2土曜日 を 基本として、進めていこうと考えています☆

☆ 運動しやすい服装と体育館シューズをご用意ください☆

☆ 前半1時間は、子どもたちと一緒にムーブメント教室を予定しています。

★平成 18 年 8 月 26 日 (土) 27 日 (日): 夏期セミナー IN 大阪 ぜひご参加ください。★

☆ 問い合わせ (参加申し込み) (自宅・携帯・メールにお願いします)

大阪教育大学 附属養護学校 金川朋子

E-mail kogorou123@nifty.com

携帯 090-9984-1183 自宅 FAX 072-367-0713

き り と り

平成 18 年 6 月 10 日 (土) 研修会 参加申し込み用紙

ご氏名(ふりがな)	所属名	連絡先

\* 複数枚必要な場合は、おそれいりますが、コピーをしてお申し込みください。

## 第4回 ムーブメント教育 研究会 活動報告

平成18年4月15日 14時～16時

於 大阪教育大学附属養護学校

### ○実践研究

(前半) MEPA-Rについて

#### 1. ムーブメント教育・療育の意義

- ・子どもは、自己の身体を知り、巧みに使用することにより成長と発達をする。
- ・教育、療育のねらいを達成するための重点課題（4点）

##### ① 子どもの自然な動きを高める。

リズム・協応・柔軟性・スピード・バランス・敏しょう性・筋力  
自然の動きを高める⇒自己実現も可能になる。

##### ② 創造性を発達させる。 内的満足と成就感。

##### ③ 心理的諸適応を発達させる。

##### ④ 身体意識を発達させる。

#### 2. MEPA-Rの目的

- ・より適切なムーブメント教育プログラムを展開するために子どもの発達のレベルを的確に把握する。
- ・単に運動発達年齢を知る発達診断ではなく、アセスメントの結果を手がかりに、ムーブメント教育・療育展開のための支援プログラムの編成を意図する。

(後半) 実技実践

##### ① カラーナイロン袋を使ったムーブメント

##### ② 地域でのムーブメントの実践

##### ③ 養護学校での実践報告（前回の研修の検証）



(様々な遊具を使って)



(バルーンで楽しむ)



(手作り教材で 数の勉強)

○研究討議 15:30 ～ 16:00

○その他

\*ムーブメント教育夏期セミナーは、毎年 横浜、徳島、福井、長野で夏期セミナーが実施されています。今年度はじめて、大阪で夏期セミナーが実施されます。

平成18年8月26日(土) 8月27日(日)です。ぜひご参加ください。